

第3回岩内町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事録（概要版）

開催日時：平成28年1月28日（木）17:00～19:20

開催場所：岩内町役場 会議室（2F）

<次第>

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 人口ビジョン（案）について
 - (2) 総合戦略（素案）について
 - (3) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援
交付金事業について
 - (4) その他
- 3 閉会

<出席者数>

計18名

委員：10名

事務局：岩内町4名、道銀総研2名

傍聴席：2名



1 開会

○事務局：（開会）

2 議題

（1）人口ビジョン（案）について

- 委員長：説明をどうぞ。
- 事務局：（参考資料説明）
- 事務局：（資料1説明）
- 事務局：（岩内町推進本部での意見等について説明）

- 委員長：こういうビジョンを掲げるべきだという意見、ここで出ている数値目標よりもっと意欲的な数値を上げるべき等の意見等もあつた。
- 委員：観光客の入込数についてはどう計測しているか。
- 事務局：24ページの表の数値は、観光入込客数調査報告書からのもので、基本的には、たら丸館、各ホテル等での聞き取りにより集計し、それを把握している。
- 委員長：観光の動態等が変化しつつあるなかで、観光政策に非常に重点を置くということであれば、計測方法の見直しも今後は必要になってくる。

- 委員：P25の注釈2の部分は、倶知安も含まれているが、倶知安は特徴的な地域なので、分けてみたほうがいい。データは提供できる。
- 事務局：岩内町、もしくは岩宇4町村だけで絞り込みはできるか。

- 委員：そこまで絞り込めるかどうかというのはわからないが、少なくともここに、注釈2の岩内、本所の管轄の数字は提出できる。倶知安を載せるかどうかは別として、岩宇4町村と南後志の4町村だけの数字が実態に近い。岩内町の生の数字に近いと思う。
- 委員長：ぜひ対応をしていただき、かつデータの提供をお願いしたい。新しい雇用を生み出され、新しい人の流れをつくるという部分で、やはりニセコ地域のある種の経済活力というものを視野に入れた政策を打つ等に向けて、参考資料として掲載することも、検討に値するかと思う。
- 委員：P23の飲食料品小売はどうみるか。
- 事務局：飲食料品小売の販売額は多くないという結果になっている。
- 委員長：経済循環の構造をみるには、産業連関表で後日見ていきたい。

(2) 総合戦略(素案)について

- 委員長：説明をどうぞ。
- 事務局：(資料2説明)
- 委員長：基本目標4つについて、こういったかたちでよいのか。網羅的な内容となっているが、めりはりをどう付けていくか。KPIについては、人口ビジョンでいうところのどのシナリオとリンクしているか。
- 事務局：リンク付けは想定していないが、KPIは努力目標数値としている。
- 委員長：方向感ほしいと思っている。ただ、この案は網羅的な印象は受ける。総合計画とリンクしているか。
- 事務局：各部署からあげられた意見をすべて盛り込んだので、こういった形になっている。
- 委員長：各部署の意見等から材料がそろったということで、これから組み立てていくということだと思う。到達すべき目標を設けて、ここは重点的にやるべきところについて意見をいただきたい。
- 委員：人口ビジョンのP16をみると、一次産業が衰退し、建設業も厳しい。基幹となる産業がない中で、北電等によって、商業をなんとか保っている状態。一次産業、関連産業の発展により基幹産業をつくるべき。
- 委員長：一次産業をきちんと基幹産業とすることで、それに関わる経済波及効果も大きいといわれている。
- 委員：漁業、水産業をテコ入れと言っても、すぐに効果が出る産業ではない。後志広域で、観光の発展という視点でみると、岩内の観光資源となるのは水産産品である。観光振興と水産振興両方の視点から見ると。
- 委員長：どこをすすめていくとどうなるか、全体でみると全体的にどういう影響、効果が出るかという見方が必要。
- 委員長：ところで新型交付金はどうなっているか。
- 事務局：交付金は後程資料3で説明しようと思っていたが、今年度国で新しく加速化交付金というのが出てきている。自治体ごとに、大体交付金が5,000万円ぐらいで、100%の交付金である。なかなかハードルが高いものだとされているのが先調的事業であること、広域連携、地域間連携、政策間連携などの、ある程度条件をクリアしていないと交付金が当たらない状態。今回施策で出したものは、そういった財源を使うのは重要だと思うが、交付金にとらわれなくて出した内容にはなっている。
- 委員：例えばDMOを広域でやるというと交付金がやすい傾向はある。ただ全額補助の交付金ばかり狙いでなくてもいい。例えばP13にあるような人づくり事業を目玉にするのはいいかもしれない。
- 委員：岩宇地域、4町村で、民間の若手でいろいろと地域を盛り上げるプロジェクトをしている。地元産品振興の民間の取り組みを継続させていくための取り組みはできないか。
- 委員：ここにある総合戦略の内容の政策をやって、人口ビジョンのような数字になれるかどうか。どこのまちの総合戦略にも書いてある。人口を維持できるような数字、最低レベルでも維持、確保できるような政策となっているか。
- 委員長：だからこそ、この委員会で検討したい。ふるさと納税で上士幌町の最近の取組が報道されたが、子育て支援に関する取組もあるようだ。

- 委員：ふるさと納税での取組には色々あるようだが、東京に住んでいるような人に来てもらえるような、転入を如何にとりこんでいくか。
- 委員：東京でも介護関連の人材が不足している状態で、介護士への手厚い待遇により転出しないようにしている状況にある。
- 委員長：UIJ ターンといっても、魅力的な仕事があるか、生活環境は整っているか。ばらばらでのPRではなく、生活全体がみえるパッケージでみせて、移住を促進しなければならない。
- 委員：島根県内のまちでもシングルマザー対象に、地域で子どもを育てていくという事例があったが、参考になる。
- 委員長：シングルマザーの移住促進はある意味一つのマーケットなる。

- 委員：岩内町に何があるかという部分をPRし、まち自体の認識度をまずはあげるべき。移住、観光促進のためにも必要である。
 倶知安、ニセコに冬は人が集まっているが、夏場は岩内にも来てもらえるようにすべき。道外の人から見るとニセコというエリアに岩内は入っている。ニセコにないものを明確にするともっと来てもらえるようになるのではないか。
- 委員：観光客の入込を増加させることと、水産業の新規商品開発はこれはやるべきだと思う。新幹線も前倒しで来ること、高速道路の延伸もある中で、ニセコの集客力は大きく、ニセコでは宿泊施設が整ってきている。冬場だけではなく、インバウンドで夏場にもニセコに来るようになってきている。ニセコには海がないので、水産物をおいしく食べてもらえる場を岩内が提供して、観光客入込促進をはかるべき。

- 委員長：雇用について、求人倍率はあがっているが、ミスマッチはあるか。
- 委員：ミスマッチはある。介護、建設関連では、技術者、専門職が不足している。事務職は人気があるがミスマッチ状態になっている。もっと求人条件を良くしてもらえると、また正社員として求人を出してくれれば、希望者は増えると思う。
- 委員長：ワークライフバランスも含めて生活の質も向上しながらも雇用問題を検討していくべき。
- 委員：高校卒業と同時にかなり流出する。流出しつづけるなかで、歩留まりをどうするか。ニセコのラフティングのように、あまりコストをかけないで観光資源を岩内でもできないか。岩内でも海でラフティングのようなことができることを外国人観光客向けなどにPRしてみたり、試験的にコストをかけずに、何かしらのアイデアをもって観光PRをやるべき。

- 委員長：人づくりに関して、例えば英語ができれば地元でも働くことができるのではないか。教育に関する取り組みはどうか。
- 委員：教育関係から合意が得られるとやっていける。
- 委員長：グローバル人材育成の一環で、来日した外国人対応することも勉強になる。
- 委員：岩内で活躍する人を子どもたちに見せて、転出しなくても活躍できるという姿をみせていくべき。

- 委員：今回の案は目玉があまりない印象を受ける。海があつて、にしがあつて、海洋深層水等、水産のまちとして、この部分を打ち出してはどうか。人口ビジョンなので高く持っていていいと思う。できる範囲でのKPIとなっている。もっと高い目標もたないと、色々やらないし、やれない。
- 副委員長：庁舎内で各部署に検討してもらい、色々案がでてきた。大胆さはないが、積み残してきた問題があぶり出せたとは思ふ。岩内だけではやりきれない問題もあるので、岩内地域でやるべき問題もある。
- 委員長：5年間かけてやっていくものなので、ハンドリングをうまくやっていくことが必要。地域連携は今後のキーになっていく。ニセコの成長力もとりこんでいく。横断的かつパッケージとして取り組めるものとしていきたい。意見としてもあげられていたが情報発信力ももっと強化していくべき。転入出均衡は厳しいという話があったが、今回意見として各部署からいい意見、材料はあがってきたので、町としてポテンシャルはあるので、工夫しながらすすめていくというところではないか。今できることはわかったので、もっとやるべきことを整理されたい。

(3) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業について

- 委員長：説明をどうぞ。
- 事務局：(資料3説明)
- 委員長：質問はよろしいか。メール等でも質問を受ける。

(4) その他

- 事務局：次回は3月中旬、下旬を予定している。
- 事務局：随時意見等とりいれブラッシュアップをはかる。2月中旬を目途に、パブリックコメントを実施する。
町民からも広く意見等を受ける。

3 閉会

- 委員長：(閉会)

以上